

かつての軍部の再来？

シールズ
SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)は毎週金曜夜、国会前で戦争法への抗議行動を行っている。学生に限らず、様々な年代の人々が参加。これまでデモなど無縁だった人が安倍政権の戦争法には危機を感じているの



8月7日夜、SEALDsの抗議行動に参加する人々

だ。三十日午後二時には「戦争させない・九条壊すな！総がかり行動委員会」が「国会十万人・全国百万人大行動」を呼びかけている。

米軍の「お手伝い」戦争

戦前、天皇と軍人が権力を

握り、国民が知らないうちに戦争を開始。その反省の文民統制。それを逸脱。自衛隊統合幕僚監部は、八月に戦争法が成立するとして資料を五月に作成。それには、ACM(米軍と自衛隊の運用面の調整を実施する軍軍間の調整所)の設置とある。自衛隊自身が憲法を無視し自らを軍と称し、軍部独走開始。米軍指揮下で「お手伝い戦争」(「ガラスのうさぎ」の著者高木登志子さんによる)をすることになる。

戦争をするとどうなるか？

八月十八日付朝日新聞に悲しい記事があった。「戦争神経症」になった中国戦線の元一等兵の記事で「燃えている家に、消せるはずもないのに手桶で水をかける中国人の老婆が母親そっくりにみえた」とあった。

戦争をすると、このように外国に被害を与え、PTSDでも苦しむことになる。

みなさんはどう思われますか？

あしながばち

足長蜂の肉団子作り

さんざし

庭に山査子の木がある。高さ三メートル位。この木が大量の毛虫に襲われた。二、三日の内に、殆どの葉が無くなった。慌てて脚立を立て、長袖を着てピンセットで捕ったら、三三四匹も。全て捕まえたつもりでいたが、下の椿の枝に逃げた虫がいた。ところが、それを足長蜂が襲った。足長蜂が頭の方から接近すると毛虫は頭を振り防護。しかし、防戦虚しく、おしりの方から噛まれた。足長蜂は、丹念に肉団子にして運び去り、暫くすると戻って、又、肉団子作り。昔子供に読み聞かせた絵本を思い出した。

